

知床の窓から見えるもの

2023年5月23日（火曜日）

「羅臼の温泉」



皆さん、こんにちは。もう12年目に突入した放射線技師です。5月に入り少しずつ羅臼も暖かくなってきましたね。それでも朝晩は気温が下がり、寒く感じることが多いと思います。

こういう時期は温泉がいいですね。光熱費も高騰しているので無料で入れる天然露天風呂の存在は本当に助かります。以前は熊の湯だけ紹介しましたが、今回は羅臼の3ヶ所の天然露天風呂についてお話ししたいと思います。

まずは熊の湯について紹介したいと思います。熊の湯は、乳白色で硫黄臭が特徴です。また、男湯は見晴らしが非常に良いし、日差しを浴びて入る朝風呂は最高です。女湯はきちんと囲いがあるので安心して入れますよ！

温度はやや熱めで43～44℃くらいですが、何度も出たり入ったりすると慣れてくるので、長く入れます。それでも熱いときは水のホースがあるのでそれで調節できるのでご安心ください。熱すぎるのは体に良いものではありませんので、やせ我慢はせずに熱ければ水を入れて、ゆっくり何度も浸かって体の芯まで温まりましょう。



相泊温泉は、羅臼市街から北に約 25km にある温泉で、昆布漁の時期に設置される簡易的な温泉です。地下から湧き出す温泉を掘って周りを小屋で囲んでいるだけでかなりワイルドです。ですが、目の前が海で国後島も見えるので絶好のロケーションだと思います。この相泊温泉は6月～9月の期間のみ小屋が建てられていますが、それ以外の時期は露天状態になるのでご注意ください。



瀬石温泉は、羅臼市街から北に約 20km にある小さな温泉です。この温泉は明治時代に発見された歴史ある温泉で、テレビドラマ「北の国から」にも登場して有名になりました。この温泉は岩礁から約 70℃の温泉が湧きだしています。こちらの温泉は個人が自主的に管理しているので、入浴する時は温泉の手前に民家があるので、そちらに声を掛けてからお入り下さい。こちらの入浴期間は7月～9月位なので瀬石温泉に行く際はご注意ください。

このように羅臼にはこんなにも天然露天風呂があってとっても贅沢だなあといつも感じています。皆さんも温泉に足を運んで、ゆっくり入浴すれば仕事の疲れも取れてリフレッシュしますよ！